

IoTに関するgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年06月10日 ～2019年06月14日	日本	マレーシア工科大学	・通信工学科 ・学部4年生、学部3年生	(芝浦工業大学) 学生20名、TA3名、教員6名 (マレーシア工科大学) 学生14名、教員2名	森野 博章(情報通信工学科)、 上岡 英史(情報通信工学科)、 行田 弘一(情報通信工学科)、 神澤 雄智(情報通信工学科)、 堀江 亮太(情報通信工学科)、 宮田 純子(情報通信工学科)



図1

IoTをテーマとして、日常生活上のニーズを抽出してセンサとマイコン(Arduino)を活用して解決するシステムを実現するPBLを実施した。最終日には地震・火災の発生、家庭ゴミの回収時期、騒音、ペットの餌やり時期等々、様々な事象を検知してユーザに通知する興味深いシステムの実装報告が各班から行われた。双方の国の文化を紹介する時間もうけ、日本側からは浴衣着用体験、マレーシア側からは子供の遊びの体験が用意され盛り上がりを見せた。短い日程であったが比較的完成度の高いシステムを仕上げた班が多く、最後の懇親会でも学生は大変良い雰囲気交流していた。プログラムは成功であったと考えている。



図2



図3



図4



図5



図6



図7